

平成30年8月23日  
福祉のまちづくり推進会議資料  
文化観光局観光振興課

### ●ユニバーサルツーリズムの理念

高齢の方や障害のある方も、人生の余暇活動のひとつとして多くの方が旅行を楽しんでおり、「旅行に出かけたい」と考えている方もたくさんいる。

高齢者や障害者を 受け入れることは、決して難しいことではなく、障害を正しく理解し適切な対応をすることで、旅行者にとっても、受け入れる観光地にとっても、負担の少ない旅行が実現する。(観光庁)

### ●推進する意義

- ①今後拡大するマーケット
- ②「障害者差別解消法」の施行

### ●観光庁の取組例

- ① 接遇マニュアルの作成
- ② 観光案内所等での情報発信
- ③ 旅行商品造成実証事業



### ●横浜市の目指すユニバーサルツーリズム

- ① 情報発信  
横浜の観光情報やバリアフリー情報をいつでもどこでも手に入れられる。
- ② 理解促進  
観光関連事業者等に「心のバリアフリー」の概念が浸透している。
- ③ 商品造成  
バリアがケアされる内容の旅行商品が造成、販売されている。

### ●市内事業者向け研修について

内 容: 接遇事例の紹介や車いす、アイマスクを使用した疑似体験を実施。

開催日時: 平成30年2月8日(木)  
横浜ワールドポーターズ

参加者: 30名  
(市内宿泊、交通、飲食事業者等)

